

介護人材の育成を大学再生の柱に 伝統ある短大幼児教育は継承

本学は、地域社会に根差しながら実学を重んじ、社会に貢献できる人材の育成を使命として歩んでまいりました。しかし、少子化などにより大学を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、特に地方私立の高等教育機関には、これまで以上に柔軟な改革と特色づくりが求められる時代となっています。こうした状況を踏まえ、本学においても、教育体制の見直しや新たな学びの創出に向けた検討を進めるなど、大きな転換期を迎えています。

留学生を受け入れ、「介護」人材不足の解消と多文化共生を図る

私は倉敷外語学院（岡山県倉敷市）と東京国際外語学院（東京都八王子市）の日本語学校2校を経営し、ネパールやミャンマー、ベトナムなどアジア諸国から多くの留学生を受け入れ、日本の介護業界で働く仕組みづくりに力を注いでまいりました。国内の深刻な人手不足を補うだけでなく、外国人が日本に定

着し、ともに生きる基盤を築いてきたこれまでの経験が、本学を再生させる確かな土台になると確信しています。

大学の再生の柱に据えているのも「介護」です。具体的には留学生の受け入れ態勢をより充実させ、大学附属日本語学校や介護専門学校を段階的に設置する予定です。募集を停止した介護専門学校の学びを引き継ぐ形で、本学内に新たな介護専門学校を開設し、地域の人手不足解消と多文化共生に貢献したいと考えています。現在の構想では、大学附属日本語学校は27年、介護専門学校は28年の開設を考えています。

**短大幼児教育学科では
専門職就職率が高いのが特長**

一方、短期大学は75年の輝かしい伝統をもち、これまでに約17万人の卒業生を教育現場等に送り出してきました。幼児教育学科は岡山県内では幼児教育の

パイオニア的存在と自負しています。長年培ってきた教育ノウハウを生かし、子どもの可能性や心身の成長をしつかりと手助けできる資質と能力を備えた保育者を育てています。

25年度の就職率は95・8%※1
専門職（保育・幼児教育など）就職率は100%※2と極めて高く、幼稚園教諭免許と保育士資格の両方取得しているのも短期大学の特長です。今後もこの伝統を礎に、質の高い保育者を育ててまいります。

これからも学生一人ひとりの学びと成長を最優先に、教育の質の向上、組織運営の透明性の確保、そして地域・産業界・国際社会との連携強化に努め、本学の再生と持続的な発展に取り組んでまいります。岡山学院大学・岡山短期大学への変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



2025年11月、ベトナム・ハノイの「HTT College」と国際交流に関する協定書を締結。学生や教員の交流、教育プログラムの共同開発などを行う。



大山 正史 理事長 学長

おおやま・まさし／東京大学文学部仏語仏文学科卒業。ソルボンヌ大学博士課程。帰国後、吉備国際大学社会学部助教授、教授、社会学部長を歴任。2011年に倉敷外語学院、18年に東京国際外語学院を創設。25年10月、学校法人原田学園の新理事長に就任し現職。

